

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 085	提案機関名 城ヶ島漁業協同組合
要望問題名 放流員について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 以前から依頼している件ですが、放流用アワビ（種苗）が弱く、回収率などが低下した状況が継続しているため、強く生き残ることができる種苗にしていきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 水産動物保健対策事業 再生産によるアワビ資源添加技術の開発 アワビ類の再生産過程状況調査 磯焼け緊急再生支援事業		
対応の内容等	<p>アワビ種苗を生産している県栽培漁業協会に対して、防疫対策などの現場指導や情報提供など、技術的なサポートを強化してまいります。</p> <p>なお、三浦半島の磯場には広く「磯焼け」が発生しており、これが放流したアワビ稚貝の成長を大きく阻害している可能性があります。まずは、磯焼けについての対策を考え、アワビなどの磯根資源にとって好適な環境への修復を図ることが重要と考えており、現在、国の研究機関（中央水産研究所）の事業に参画し、実態調査や共同研究を実施中です。そこで得られた知見を元に、担当普及員とともに皆様に情報提供や放流の際の現場指導等を行ってまいります。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			